

## 令和7年度高島市総合教育会議第2回会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和8年1月20日（火）  
開会 午前10時00分 閉会 午前11時10分
- 2 開催場所 高島市役所 新館3階 会議室9、10
- 3 会議次第
  1. 市長あいさつ
  2. 会議録署名委員の指名 森委員、地村委員
  3. 議題
    - (1) 第2期高島市教育大綱の改訂（案）について
- 4 出席者  
(構成員)  
今城市長、川島教育長、橋本教育長職務代理、高木教育委員、森教育委員、地村教育委員  
(市長部局)  
仲井政策部長、大森政策部次長、前川子ども未来部長、加藤子ども未来部次長、三家丸子ども未来部次長  
(教育委員会事務局)  
饗庭教育総務部長、赤水スポーツ振興部長、川原林教育指導部長、吉原教育総務部次長（社会教育課長取扱）、中川教育総務部次長（図書館長取扱）、野崎スポーツ振興部次長（国スポ・障スポ大会推進課長取扱）、保木教育指導部次長（学事施設課長取扱）、前田教育総務課長、山本文化財課長、佐藤文化ホール館長、加藤市民スポーツ課長、保木学校教育課長、上原マキノ小学校建設課長、横井川学校給食課長、林教育総務課参事、中村教育総務課主任
- 5 会議を傍聴した者 0人
- 6 議事の経過 別紙のとおり

## 議事の経過

議題の公開／非公開 全て公開

### 1. 市長あいさつ

### 2. 会議録署名委員の指名

森委員、地村委員

### 3. 議題

#### (1) 第2期高島市教育大綱の改訂（案）について

【説明】 前田教育総務課長

資料 「新旧対照表」 1ページから4ページまでの次の事項について説明

|      |         |  |
|------|---------|--|
| 1ページ | 大綱 表紙   | 改訂年月を追記  |
| 2ページ | 大綱 目次   | 修正無し   |
| 3ページ | 大綱 1ページ | 改定の趣旨を追記                                       |
| 4ページ | 大綱 2ページ | (2)位置付け を前ページから移動しレイアウト変更<br>2 期間 実施期間の修正、表の修正 |

【質疑等】 なし

【説明】 前田教育総務課長

資料 「新旧対照表」 5ページから6ページまでの次の事項について説明

|      |         |      |
|------|---------|------|
| 5ページ | 大綱 3ページ | 修正無し |
| 6ページ | 大綱 4ページ | 修正無し |

【質疑等】 なし

【説明】 保木学校教育課長

資料 「新旧対照表」7ページ中の次の事項について説明

|   |             |   |  |
|---|-------------|---|--|
| ② | 1人1台端末等の～   | 1人1台 <u>タブレット</u> 端末等の～   | 文言追記   |
| ③ | 少人数指導等の～    | <u>小学校教科担任制</u> や少人数指導等の～   | 少人数指導が少なくなり、小学校教科担任制が増えた事から、文言追記                 |
| ⑤ | (新規)        | 1人ひとりの教育的ニーズに応じた多様な学びの場を設けるとともに学校以外の場における多様な学習活動を含め、園小中学校を通じた切れ目のない就学に関する支援を行います。 | 不登校や特別支援教育の視点を深化させるため⑤として追記<br><br>以降の番号を1つ繰り下げる |
| ⑩ | 学校教育目標を共有し～ | 学校教育目標や <u>学校・地域連携カリキュラム</u> を共有し～  | 全小中学校で学校・地域連携カリキュラムを作成し、学校運営協議会で共有しているため         |

【質疑等】

○橋本委員

教科担任制の令和7年度の状況と今後の方向性について教えてほしい。

○保木学校教育課長

小規模な学校を除き常勤や講師により教科担任制が可能となるよう体制を整えている。県も引き続き教科担任制を進めていく方針であるので、市としてもその方針で進めていきたい。なお、県では、高学年だけではなく、中学年である3、4年生にも広げていこうという方針になっている。

○橋本委員

教科担任制は教科の選定等各学校に裁量権があるのか。

○保木学校教育課長

教科は算数、理科、音楽と決まっており、算数と理科が多い。裁量権はある。

○橋本委員

これまでは担任が授業をしていたところを、1人の先生がその学校のその教科について責任を持つという事はその学校の子どもの実態が良く分かりとても展望があると思うが、教科担任とクラス

担任が成績表や子どもの状態等を引き継いだり対応したりする時間はあるのか。

○保木学校教育課長

週一回程度授業の進捗状況をじっくり話す時間が設けられているほか、普段から気になった事はその場で担任に伝えたりしている。

○橋本委員

以前に学校訪問した際に6年生の理科の授業を中学校の先生が教えていた。中学校の先生であれば小学校の授業で押さえておくべきポイントなどを良くご存知なので、何度も結果が出るまで実験をやり直しされていた。理科や算数などは非常に子どもにとって大事だと思うので、続けていただきたい。

○高木委員

特定の教科を教科担任に任せる事のクラス担任のメリットがあれば教えてほしい。

○保木学校教育課長

毎日の帳面を確認し保護者に返信するとか、隣の学級の先生との打合せなど、事務的な仕事が出る時間が持てるので、クラス担任は有難く思っていると思う。

○川原林教育指導部長

先ほど課長が申したもののほか、日々の授業の教材研究の時間に充てる事もある。また、色々な教員が学級に入る事によって、多くの目で子どもたちを見る事が出来る。その時に気になった子どもの事を情報共有したりする事もある。

○地村委員

人材確保についてはいかがか。

○保木学校教育課長

県が正員として加配措置を講じてくれればありがたいが、そうでない場合は講師を探さなければならぬ。教科担任制だけではなく産休・育休に入られる先生の補充などでも講師の確保は本当に難しい。主に校長が講師を探す事となるが、100件電話してようやく1人確保できるといった状況である。以前は80歳の方に講師をしていただいた事もある。県には正員をつけてほしいと強く要望している。

○川島教育長

少し私の思いを話させていただく。

教育大綱の表紙に「市民一人ひとりが高い志をもち、生涯にわたって学び、学んだ事を人々のため、社会のために役立てようと行動するひとを育てる『高島の志の教育』を推進します。」とあるが、これは中江藤樹先生の教えを大切にされた清水安三先生の言葉「学而事人」の内容である。いつの時代であっても大切にすべき事である事は間違いないので、時代が移り変わってもこれを基

軸に置きながら教育活動を進めていこうという事で、高島市の教育の基本構想として設定された。それを五つの分野に分けて行っている。

今は目標1の学校教育の分野の話題なのでそこに焦点を当てると、高島市の学校教育で大切にしているのは①の小中一貫教育。高島市は小学校も中学校も少人数であり、教員の数が少ない。小中の9年間であれば教員の数が増えるから、小中の教員で9年間を責任もって育てていこうという事で、小中一貫教育をまず挙げている。次に、地域とともにある学校づくりという事で、子どもたちに地域に愛着を持ってもらい、将来地域に貢献しようとする人づくりの土台を学校教育の中で作る必要があるという事で⑦として挙げている。また、地域の方に学校運営について考えていただき、学校経営について承認をいただくという学校運営協議会を設け、これが核となって地域学校協働活動を実践している。高島市では、「学校・地域連携カリキュラム」というものを3年前に作り、それが徐々に軌道に乗ってきている。先日も「地域とともにある学校づくりの事例発表会」というものがあり、県の方々の評価も高かった。

この小中一貫教育と、地域とともにある学校づくり、これを今後も進めていってほしいという思いがあるので、この改訂のタイミングで学校・地域連携カリキュラムを追記してもらいたいと思う。ただ昨今では学校の教員は非常に忙しいと報道されているので、このカリキュラムが学校の先生方や地域の方々の負担感が増す事がないように、持続可能な形で進めてほしいという事は管理職の会議で話しているところであるが、お互いにとって良い関係づくりが出来、将来的に学校を核とした地域づくりにうまく繋がればよい、という思いを持っている。

#### ○橋本委員

学校の教員や子どもが色々な教員や保護者以外の方と接する機会が増えるという事はとても大事であるが、学校に来られた地域の方が、子どもと接する事によって逆にパワーを貰えると喜んで帰ってこられるという事例を何度か見聞きしている。地域を元気にするには個人が元気でないとだめだと思うが、先ほど教育長が言及された学校・地域連携カリキュラムで、自身の新たな人生を生かす取り組みをされ、自分の力を発揮できる場がある。学校に対する敷居が低くなり、より新たな人間関係が構築できるのでいい事だと思うが、地域もだんだん高齢化してきており、今後のサイクルがどうなるかというのは少し心配であるが、学校にも地域にも個人にも良い門戸が開いたと考えている。

小中一貫教育に関連して、小学校から中学校に上がり学校に馴染めないという傾向は増えていないか。

#### ○保木学校教育課長

小学校から中学校への滑らかな接続はおおよそ出来ていると実感している。不登校の現状をみると、昔は学年が上がるにつれ数が増えていったが、今では小学校1年生から不登校や教育支援センタースマイル等関係機関に繋がる子どもが増えてきている。全体的に不登校の数が増えているが高島市だけではなく全国的な問題だと思う。

#### ○橋本委員

私は、不登校の原因は子どもの心にもあるとは思いますが、家庭の価値観と学校の価値観のギャップに迷い一時期不登校になるのではないかと思う。高島市には、保護者の方にも社会福祉や経済面で

切り込んでいてもらいたい。保護者が安定しないと子どもは絶対安定しない。出来る事を何とかしていただきたいという事を意見として述べさせてもらう。

○保木学校教育課長

本当にそのとおりだと思う。教育相談や課題対応室などもあるが、教育支援センタースマイルでも保護者の方とお話しする機会を設けたり、学校でも関係機関を紹介するといったアドバイスをしているところもある。経済的な問題を抱えている家庭については、社会福祉協議会など福祉の方に繋いでいくという事も担っていると思う。

○森委員

今回の教育大綱が2年延長され、文言の訂正や追加がある。教育に直接関心があるのは保護者だと思うが、これからの高島市の教育のあり方をこのように修正していくという事は実際肌で感じにくい。学校運営協議会やコミュニティ・スクールについても同じ。直接教育に関わっている保護者からすると知らないという方もおられると思うが、周知方法について考えていただきたい。

○保木学校教育課長

学校運営協議会の委員や地域学校協働活動推進員には年度初めに「学校だより」などを通じてお知らせしている。また、活動があった際には、学校に関わっていただいた事をお返しするというか、周知やお願いの意味を込めて学校通信に掲載している。教育大綱改訂については市のホームページなどで行う事になると思う。

○橋本委員

国スポ・障スポお疲れさまでした。私は安曇川高校にウエイトリフティングを見に行ったが、分かりやすいアナウンスやディスプレイもあって素人でも分かりやすく面白かった。小学生も中学生も見学に来ていたし、高校生もお手伝いされていて高島市全体で盛り上げているという事を肌で感じられて良かった。その余韻が残っているうちに、新たに出来たサークルであったりコミュニティ・スクールで学校に来られる方に新たなスポーツを提案してみたりして、1人でも琴線に引っかかれば良い。忙しいとは思いますが、現場に足を運んで1人ひとりの反応を目や肌や表情で感じてほしい。

○赤水スポーツ振興部長

皆さんにご協力いただき、市内の選手を含めたくさん活躍いただいた。大変盛り上がった大会になった。競技団体の皆さんの普段からの活動の賜物であると思う。銃剣道競技は大会前に市内の中学校の体育の授業で取り組んでいただいたり、競技団体と学校とで連携をさせていただいている。

【説明】 前田教育総務課長

資料 「新旧対照表」 8 ページ中の次の事項について説明

|       |          |      |
|-------|----------|------|
| 8 ページ | 大綱 6 ページ | 修正無し |
|-------|----------|------|

【質疑等】

○橋本委員

今津図書館を良く利用しているが、司書の方の企画展示があり、必ず目を引くものがある。また、学校や保育園への出張貸出についても、色々な本に出会うという事は色々な人に出会える、場所へ行けるという事でとてもいいなと思う。どちらも続けていただきたい。

また、先日ガリバーホールで赤ちゃんが参加できるコンサートの開催を報道で見た。子どもが泣いても走ってもいいコンサートはとてもいいと思う。大阪には泣き叫んでもいい図書館があるとも聞いた。これからはそういった視点もどこかで持っておかななくてはいけないと思った。

○中川教育総務部次長

図書館司書による特設コーナーは市内全域で実施しており、それぞれの図書館の司書が工夫を凝らして特集を組んでいるので続けていきたい。また、学校への訪問貸出についても、今年度から市内の図書館全てから選抜した本を各学校に持って行くようにしている。こちらも引き続き取り組んでいきたい。

また、委員が最後に発言された図書館の静かさについては、人々の居場所でもあり、地域の状況によって変わってくる部分もあるので、図書館協議会等様々な場所で検討していきたいと思う。

○佐藤文化ホール館長

ガリバーホールでの0歳コンサートについては、普段文化芸術活動に行く事が難しい子育て世代を対象にした企画です。会場には泣いた子や歩き回る子などたくさんいたが、アンケートでは喜びの声が多数寄せられていたので、引き続き取り組んでいきたいと思う。

○森委員

目標2「新しい地域づくりに向けた社会教育の推進」の④「公民館、図書館の社会教育施設を拠点に～」とあるように、高島市には旧行政区分ごとに図書館（室）があり、マキノの図書館は老朽化が進んでおり新設される小学校に併設される事が議論に上がっていると思うが、北海道では学校図書館が地域に開放されており、まさにコミュニティ・スクールが実践されていると先日聞いた。そういった事も新しい地域づくりに向けた中で取り組んでいければいいと思う。

○川原林教育指導部長

公立図書館がマキノ小学校に併設される事は地域にとって重要な事であると思うし、アンケート結果を踏まえ進めていきたい。

○上原マキノ小学校建設課長

令和7年11月末に設計業者と契約締結し、現在設計図を作成している最中である。設計の中で

公立図書館も合わせて設計しているので、計画図が出来た時点で報告させていただく。学校図書館と公立図書館が併設される形で進めている。

【説明】 前田教育総務課長

資料 「新旧対照表」 9ページ中の目標4について説明

|      |         |      |
|------|---------|------|
| 9ページ | 大綱 7ページ | 修正無し |
|------|---------|------|

【説明】 野崎スポーツ振興部次長

資料 「新旧対照表」 9ページ中の目標5について説明

|   |   |                               |
|---|---|-------------------------------|
| ② 滋賀県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会にあたり、一般社団法人高島市スポーツ協会の体制強化を支援するとともに、各スポーツ団体と連携して開催に向けた環境づくりを進めます。 | 滋賀県で開催された国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の成果を生かし、引き続き一般社団法人高島市スポーツ協会を支援するとともに、各スポーツ団体と連携し、 <u>市民スポーツの普及、振興、人材育成を図ります。</u> | 国スポ・障スポ大会での気運を生涯スポーツの振興に繋げるため |
|---|---|-------------------------------|

【質疑等】

○橋本委員

文化財関係の今後の計画はどうなっているか。

○山本文化財課長

今年度新たに整備した中江藤樹・たかしまミュージアムで文化財の活用や発信を計画中である。また来年度は、今までの資料館が解体された朽木地域と高島地域の文化財についてテーマを設定し計画している。これまで発信が難しかった地域の文化財についても、当施設で開催する展示会や見学会などの発信で活用を続けていきたい。

【その他】

○高木委員

学校教育課から講師の人材確保について、以前から一生懸命探されているという事を聞いているが、かなり負担になっていると思う。校長や教頭に頼らない人材確保のやりかたについて、何とかならないか。

○保木学校教育課長

県としても、校長の本来の仕事は学校運営にあり、講師探してそれだけ時間をとる事を問題視しているので、少しでも負担が減るような施策を考えている最中だとは聞いている。市教委も一緒になって探しているが、そもそも成り手がいない。引き続き協力して探していきたい。

#### ○地村委員

学校運営協議会で、学校に行った高齢の方が元気をもらって帰ってくる事例はたくさんあると思うが、制度を知らない方から、「最近では学校が何でも地域の協力を仰いでくる」という声も聞かれる。先月民生委員について市の広報で大きく紙面を割いて紹介するページがあったが、教育大綱を改訂するにあたって、高島市の小中一貫教育と地域とともにある学校づくりに向かっているという事や、学校運営協議会の紹介などをホームページではなく紙面で紹介してはどうか。

#### ○保木学校教育課長

学校にお越しいただくのは本当にありがたい。その思いを皆さまに返せるようにという事で学校通信で発信している。学校通信は各家庭に回覧板で見ただけなのでこれからも続けていきたい。

#### ○川原林教育指導部長

登下校の見守り活動や草刈り等環境整備作業、九九道場や放課後学習会など学校にきていただく機会も多いが、今後は地域に出向く活動にも重視していきたい。地域の福祉まつりや防災訓練での地域貢献活動といった事にも取り組んでおり、学校も地域に貢献する活動を重視していこうと考えている。

#### ○高木委員

学校運営協議会の理解があまり進んでいないのでは。学校でも良く分かっていない先生もいると思う。今までの学校評議員と学校運営協議会は違うという事、ただボランティアとして学校を助けてください、という事では無いという違いの部分がもうちょっと浸透するように何とか分かりやすく伝える事が出来ないかと思う。

#### ○保木学校教育課長

広報などで周知する事はもちろんだが、活動に参加していただいた方から地域でじわじわ広がっていくような草の根活動が大事だと考えている。昔、学校評議員の会議は夜に行われたが、現在の学校運営協議会は昼間に会議が行われ、生徒の活動を見ながら話をしたり、時には子どもも学運協に入って一緒に学校について話をする事もある。地域の活動に生徒が参加して回るという事も行われているので、草の根活動が広がっていくよう引き続きご協力お願いしたい。

#### ○高木委員

子どもたちが駅周辺を掃除したりする事を聞いている。中学生が地域に出向いて関わる事によって、地域の人が、じゃあ私たちも子どもたちのためになにかできる事はないか、といった輪が広がっていけばいいと思う。高島市の子どもたちは高島市のみんなで育てるといふ、温かい活動になる事を期待している。

#### ○川島教育長

教育委員会の役割として、学校教育だけでなく、子どもから大人までが生涯学び続けられる環境づくりが重要であると考えられる。文化や芸術活動、スポーツを通じて喜びや感動を与え、生きる喜びを感じられる場所づくりも必要であると考えられる。それに向けて何が出来るかという事が教育大

綱の中で大きく整理をされているが、細かい部分については毎年作成している「高島の志の教育」に基づき、毎年各分野での流れを盛り組んだ内容を整理している。この教育大綱を多くの方が目にされているかという疑問なところもあるが、自分で学びの場を見つけてもらえるような広報の活用を考える必要があると思う。

○今城市長

他にご質問ご意見ないようなので、今日委員の皆さまからいただいた意見を教育大綱（案）盛り込み、次回会議で完成版として報告させていただくという事でよろしいか。

（異議なし）

#### 4. 今後のスケジュール

【説明】 前田教育総務課長

|        |            |         |
|--------|------------|---------|
| 令和8年3月 | 第3回総合教育会議  | 大綱改訂の承認 |
| 令和8年4月 | 政策調整会議     | 大綱改訂の報告 |
| 令和8年4月 | 高島市議会      | 大綱改訂の報告 |
| 令和8年4月 | 市ホームページで公表 | 大綱改訂の公表 |

#### 5. 閉会